#### ●栽培に用いる原木

きのこ栽培は、多くの樹種が使えるが、きのこの種類によって適、不適がある。表にはきのこ別に用いられる 主な原木樹種を挙げた。

#### ●伐採~伐採後の管理

落葉広葉樹の伐採時期は、秋の黄葉初期から春の新芽が出るまで。カシ類やシイ類は厳寒期の1月から2月が 適期。いずれも、樹液の流動が停止した休眠期が伐採適期である。

伐採後は、葉がついた状態で1カ月ほど乾燥させ(葉枯らしという)水分を抜いた後、栽培に都合の良い長さ に玉切る。樹皮下組織が生きていると菌糸が成長できないので乾燥して枯死させる。逆に乾きすぎた原木では、 種菌の活着や菌糸の成長のため、水分補給が必要となる。

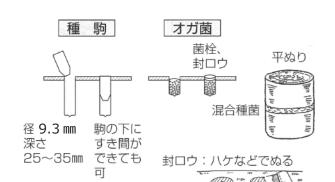
#### ●種菌の種類







▲種菌(オガ菌) 1袋(800個入り) 1瓶(1300cc入り)



●駒菌は径 9.3 mmの穴をあけて金づちで打ち込む

●オガ菌は菌栓や封口ウでフタをするか、混合種菌として 平ぬりする

#### 表 きのこの栽培に適した主な樹種

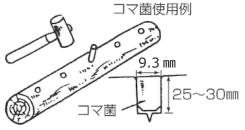
(◎:適 ○:可)

木の種類 きの種類 ケコケナクリラダケ	アカメガシワ	ア サ ダ 〇	アベマキ 000	イイギリ〇〇	エ ノ キ 〇 〇 〇	カエデ類〇〇〇	カ シ 類	カッラ〇	カンバ類〇〇〇	ク ヌ ギ ○ ○	ク リ © ○	クルミ 〇〇〇〇	ク ワ 〇 〇	ケヤキ000	ケンポナシ〇〇	コ ウ ゾ 	コシアブラ〇〇	サクラ類 〇 〇 〇	サワグルミ○◎	シ イ 類 〇〇〇	シ デ 類 〇 〇 〇 〇	シラカンバ〇〇〇〇
木の 種類 きの種類 ヒラメタケ ナクリラゲ シイタケ	スズカケノキ〇〇	タカノツメ 〇	タラノキ 〇	ツ バ キ 〇	トチノキ〇〇〇	ナ ラ 類	ニワトコ	ネムノキ〇	ノグルミ 〇	ハルニレ〇〇〇	ハンノキ◎◎○○	ハリギリ〇〇	ブ ナ ⑤ ⑥ ○	ホオノキ〇〇	ポプラ類◎○○○	ミズキ〇〇	ムクノキ〇	ヤシャブシ〇〇〇	ヤナギ類〇〇〇〇	ヤマナラシ〇〇	ヤマハンノキ〇〇	ヨグソミネバリ

# ナメコ

#### 駒菌





原木は直径5cm以上が適している

# ドリルで穴をあける (a) ....

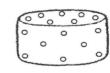
樹皮の展開図 0 0 0

C-MI

直径10cm、長さ 1 mの原木では 25~30か所

 $4\sim5$ cm





大径木は短木栽培

木口面 にも植 える



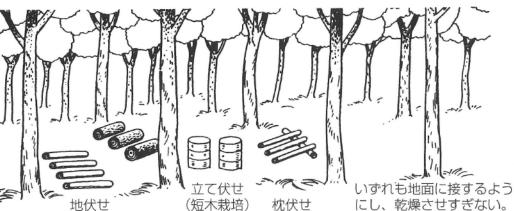
オガ菌 の混合 種菌

平ぬり法はヒラタケと同様に

### 伏せ込み

直射日光が当たらず 雨がよく当たる場所 湿度のやや高い杉 林などが適。

通常はその場で発 生させる。



 $15 \sim 20 \text{cm}$ 

### 発

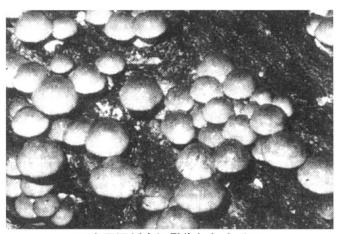
15℃以下になる頃から発生が始まる



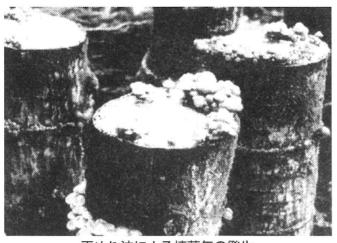
ほだ木は伏せ込んだまま動かさない。 乾きやすい所は散水する。



半分埋めたほだ木



コナラほだ木に発生したナメコ



平ぬり法による植菌年の発生 植菌年は固着面をはがさない方が発生が良好となる

# ヒラタケ

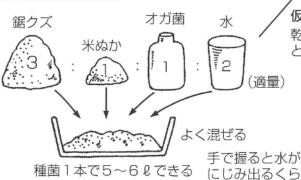
#### 混合種菌の平ぬり法

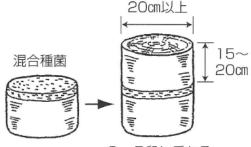
玉切る前にチョークで 縦線を入れておくと 後で合わせやすい



短木栽培の玉切りの厚さは15~20cmを標準とするが、20~30cmも可。 玉切りの時にでる新鮮な鋸クズを混合種菌作りに利用する。

#### 混合種菌のつくり方





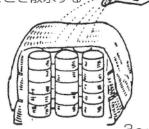
·3~5段に重ねる

混合種菌を1cmの厚さに木口面に塗り付けサンドイッチ状に重ねていく。1本の種菌で直径20cmの原木なら20面くらい植菌できる。

#### 仮伏せ

いの水分量

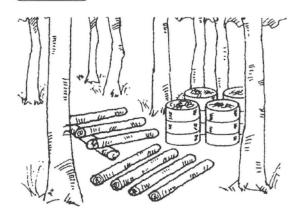
乾きすぎないように ときどき散水する....**※** 



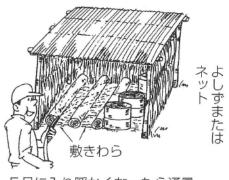
ほだ木全体をコモ、ムシロで覆う。冬季はこの上からビニールで覆う。気 温が高くなったらはずす。内部に湿り気があるようにする。乾いている場合は時々散水する。

3~5段積み重ねる

### 伏せ込み )林内



#### 裸地(小屋がけ)



5月に入り暖かくなったら通風 をはかり枠を作りよしずなどで 直射日光を防ぐ

#### 伏せ込み場の条件

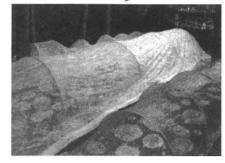
- 春から秋までほだ 木に直射日光が当 たらないこと。雨 が十分当たること。
- 庇陰が足らないと きは遮光ネットや よしずなどを張 る。

## 、発生)

固着しているほだ木をはがし、接種部を上にして並べる。 はがさず重ねたままで、その間から発生させることも出来る。 うねを作り、上部数cm残して土の中に埋める方法もある。



はがさずに発生させている状態



床を作って並べて発生させて いる状態。網掛け実施

が きのこの発生 前から 1 mm目 ヒダコブ病対策として網掛けする の網をかけて キノコバエを 防ぐ



ヒダコブ病 センチュウが犯人 キノコバエが媒介する

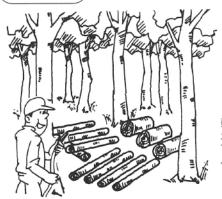
# キクラゲ

植菌方法はヒラタケ・ナメコのコマ菌と同じ。伏せ込みは地伏せ、ヨロイ伏せなど。 植菌した年の梅雨頃から発生する。

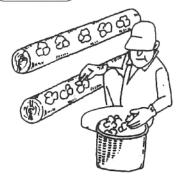
発生~採取

#### 伏せ込み

林内または人工庇陰



乾きぐあいを見て 適宜散水する 伏せ込み場の条件は ヒラタケと同じ



エノキ、ウコギ類など材質が軟らかく、 菌糸がまん延しやすい樹種では植菌年の 8月頃から発生する。

11月位まで降雨が あれば断続的に発生 する。乾くと成長するが濡れると継続して ると継続して ると継続して るが、長期の原因とな 病気発生の原因とけば まま放置するで いままな が落ちるのする。

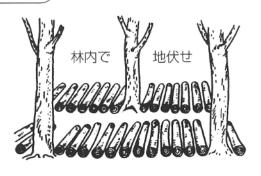


ムクノキに発生したキクラゲ

# クリタケ

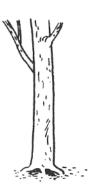
植菌や仮伏せの方法はヒラタケ、ナメコのコマ菌と同じであるが、植菌年の梅雨明け後から 9月頃までに土中に埋め込み、ほだ木周辺にも菌糸をまん延させる。 植菌した翌年秋から発生する。

### 仮 伏 せ



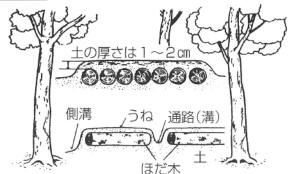
裸地あるいは直射があたる 場所では日覆いをする





伏せ込み

地面に並べる方法もあるが 土中に埋めるのが一般的



土を掘って、埋める。水はけの悪い土地はうねを立てる。

発生 生

ほだ木から離 れた地面にも 発生する

ほだ木が地面に接している所に片寄って発生する (埋めない場合)